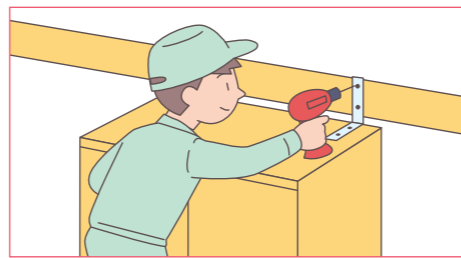


いま そな なごやし とく つか | 今から 備えよう! 名古屋市の 取り組みを 使ってください

① 地震の 揺れに 備える

○家具 転倒 防止 ボランティアの 派遣

自分では 家具が 倒れないように することが できない 人に、
「家具 転倒 防止 (家具が 倒れる ことを 防ぐ) ボランティア」が
家に行きます。(ボランティアの お金は かかりませんが、金具な
どのお金は かかります)
電話する ところ: 住んでいる 区の 消防署



○木造 住宅の 無料 耐震 診断・耐震 改修の 助成

1981年5月より 前につくり始めた、名古屋市にある 2階まで
の木造 住宅(木で つくった 家)は、お金がかからずに、耐震
診断(地震で 家が 倒れないか みる こと)が できます。
また、耐震 診断で、判定値(家が 倒れるか どうかの 数字)が 1.0より
小さい 家は、耐震 改修(できるだけ 家が 倒れない ように する
こと)にかかる お金の 一部を 名古屋市が 出します。
電話する ところ: 住宅都市局 耐震化支援室 (TEL: (052)972-2921)



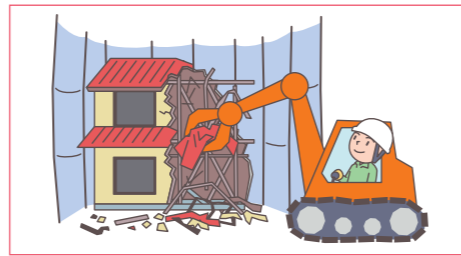
○ブロックの壁 などの 撤去 助成

道にある 高さ 1mより 高い ブロックの壁 などを 無くす お金の
一部を 名古屋市が 出します。
電話する ところ: 住宅都市局 耐震化支援室 (TEL: (052)972-2921)



○老朽 木造 住宅の 除却 助成

米野・御剣・下之一色・笠寺 地区の 木造 住宅が たくさん ある
地域で、1981年5月より 前につくり始めた、木造 住宅を 無く
す お金の 一部を 名古屋市が 出します。
電話する ところ: 住宅都市局 市街地整備課 (TEL: (052) 972-2759)



② 地震の あとの 火事に 備える

○感震 ブレーカーの 設置 助成

名古屋に 住んでいる人が、感震 ブレーカー (分電盤 タイプ)
を取り付ける お金の 一部を 名古屋市が 出します。
電話する ところ: 防災危機管理局 危機管理企画室 (TEL: (052) 972-3523)



③ 地震の あとの 暮らしに 備える

○太陽光 発電 設備 等の 導入費 補助

地震の あと、自分の 家での 暮らしに 役に立つ 太陽光 発電
(太陽の 光で 電気をつくること) システムや 蓄電 (電気を ため
ること) システムなどを 買う お金の 一部を 名古屋市が 出し
ます。
電話する ところ: 環境局 低炭素都市推進課 (TEL: (052) 972-2696)



※くわしい 話は、「電話する ところ」に 電話して 聞いてください。

臨時 情報 について
電話する ところ

ぼうさいききかんりきよく ききかんりきかくしつ
防災危機管理局 危機管理企画室
電話: (052)972-3523 メール: a3523@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

南海トラフ 地震 って、

一回では おわらない かも!?

知ろう! 「南海トラフ 地震 臨時 情報」

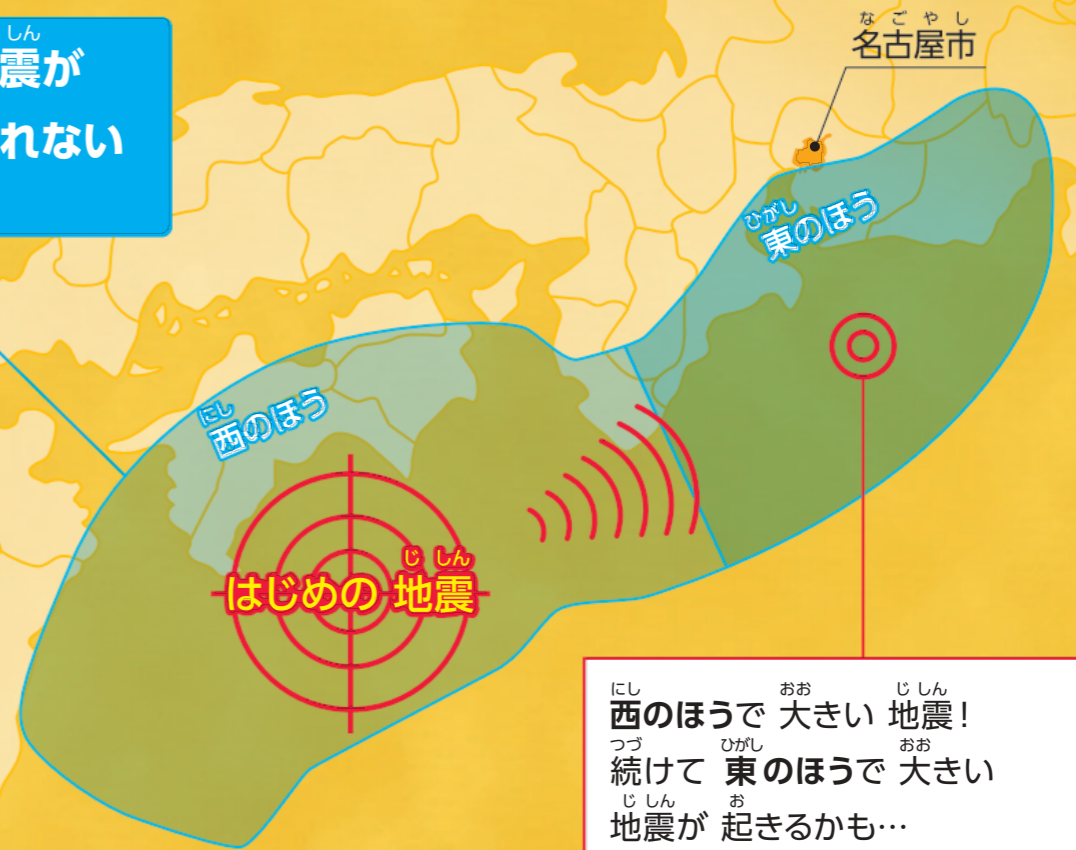
南海トラフ 地震は、この地域で 昔から たくさん 起きている
大きな 地震 (地面が 揺れる こと) です。

「南海トラフ 地震 臨時 情報」を知って、正しく 動きましょ。う。
自分の 命、大切な 人の 命を守る ことができます。



ジジヨ

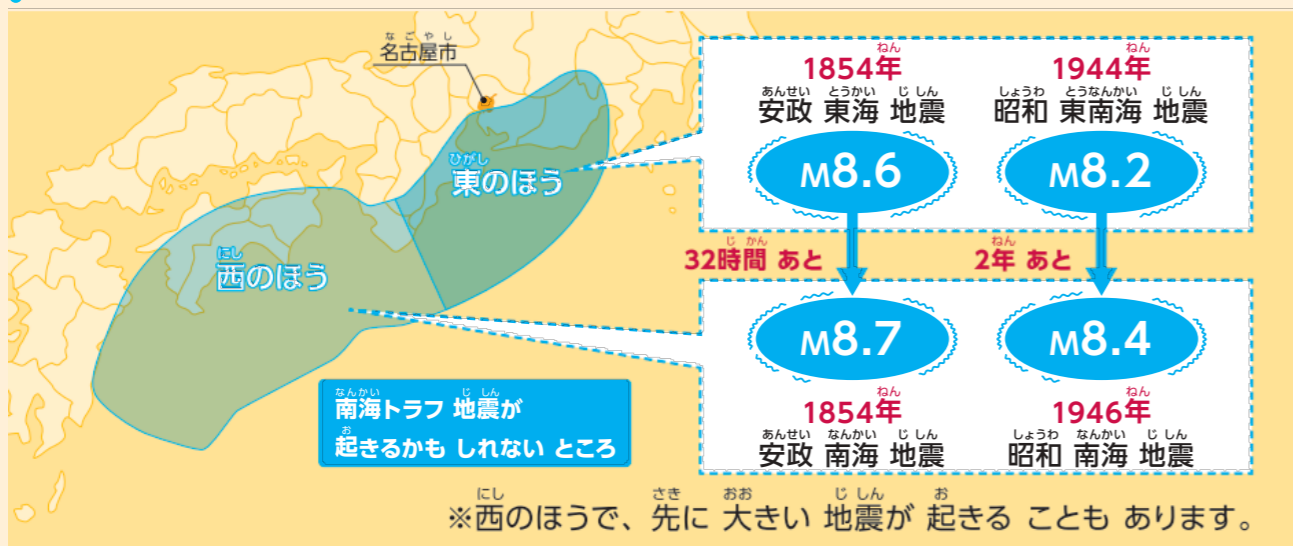
南海トラフ 地震が
起きるかも しれない
ところ



西のほうで 大きい 地震!
つづいて 東のほうで 大きい
地震が 起きるかも...

そのとき、あなたは どうする?

南海トラフ地震は、続けて起きたことがある



※Mはモーメントマグニチュード

南海トラフ地震 臨時情報とは？

南海トラフ地震が起きるかもしれないところで1回大きな地震が起きたときなど、**続けて大きな地震が起きるおそれ、いつもより高くなったとき**に、気象庁が出すお知らせです。キーワード（巨大地震警戒、巨大地震注意など）があわせて出ます。



数秒～数十秒 あと
緊急地震速報
(地震のお知らせ)

2～3分 あと
大津波警報 など
(津波(大きい波)のお知らせ)

早くて2時間 あと
南海トラフ地震 臨時情報
巨大地震 警戒
巨大地震 注意

みなさんの動き

すぐに身を守る・すぐに逃げる

- ・家の中では、机の下などにもぐる
- ・家の外では、ブロックの壁の近くなど、危ないところに近づかない
- ・海の近くでは、津波避難ビル(津波から逃げるところ)に逃げる など

(大津波警報などが終わったあと)
いつもと同じように暮らしながら、いつもより地震に備える

多くの人は、いつもと同じように仕事や学校に行きます。

※巨大地震警戒では2週間、巨大地震注意では1週間、いつもより地震に備えてください。

いつもの暮らしに戻る

※地震が起きるおそれは無くなっていません。

「南海トラフ地震臨時情報」が出たら、何をやるのかな？



※「南海トラフ地震臨時情報」が出ないで、先に南海トラフの東のほうで地震が起きることもあります。

南海トラフ地震 臨時情報が出たら、いつもより地震に備える

地震が起きる前から地震に備えて、「南海トラフ地震臨時情報」が出たときにいつもより地震に備えよう。

1 地震の揺れに備える

家具が倒れないようにする など

家具が倒れてケガをしないために、L型金具や突っ張り棒などで、家具が倒れないようにする。

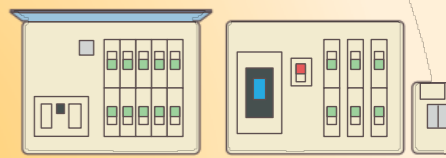


また、窓ガラスやガラスでできたとびらに、ガラスが飛び散らないフィルムを貼る。

2 地震のあとの火事に備える

感震ブレーカーを取り付ける

地震のあとに電気による火事(家が燃えること)を防ぐため、地震が起きるとブレーカーを落とす「感震ブレーカー」を取り付ける。



自助

(自分の命を自分で守ること)

自分の命、大切な人の命を守るために



逃げるところ・逃げる道を決める

住んでいるところのハザードマップ(危ないところや逃げる場所が書いてある地図)などを見て、自分の逃げる場所や逃げる道を決める。

3 地震のあとの暮らしに備える

家族との連絡のとり方を決める

災害用伝言ダイヤル171や災害用伝言板サービスなど、家族との連絡のとり方を決める。



名古屋市防災アプリ



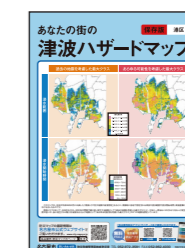
名古屋避難ガイド



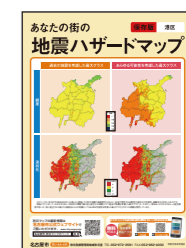
地震のときに倒れそうな家に住んでいる人や、がけが崩れそうなところに住んでいる人は、友だちの家などに逃げることも考える。

南海トラフ地震 臨時情報が出たら、いつもより安全に暮らす

- 海の近くやがけの近くに、近づかない。
- 家の中の危ないことが少ないところで暮らす。
- ベッドの頭の上や高いところに物を置かない。
- 防災のお知らせをどう受け取るか知る。



津波ハザードマップ



地震ハザードマップ